

# わなの捕獲監視センサー(SMS通知)導入(徳島県勝浦町)

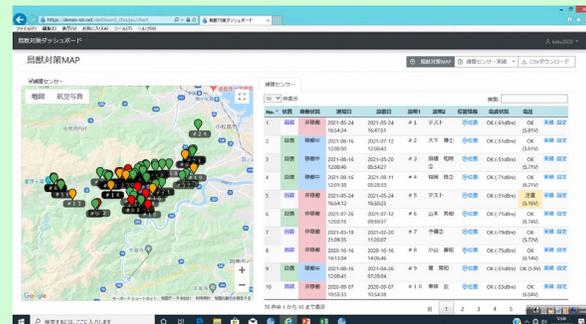
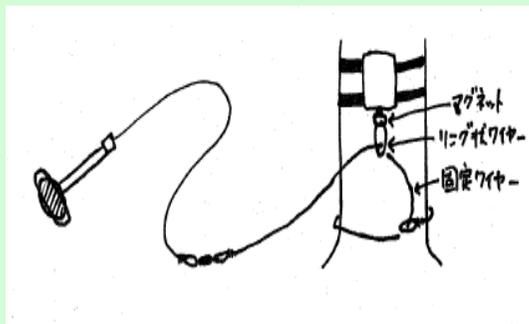
- 令和2年度に携帯基地局のLPWA(特定小電力無線)を使った捕獲監視センサーを76台導入
- 町が講習会で有害捕獲従事者にくりわなへのセンサー設置方法を周知
- 町がクラウド上のダッシュボードから全体の稼働状況を監視し、電波状況や電池残量をモニタリング
- SMSで通知を行うため、携帯端末の種類を問わずシステム利用が可能
- シカの捕獲頭数が1年間で20%増加

## 取組内容



監視センサー価格  
38,115円(税込)  
通信費  
50円(税込)／月／台  
※とくしまIoTプラットフォームを活用

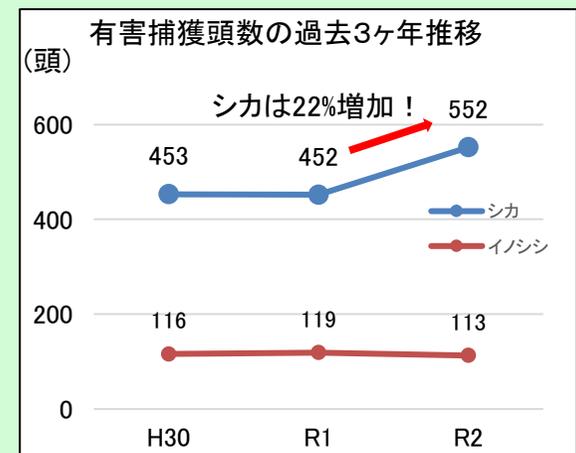
- R2年度に76台を導入
- SMSで捕獲を通知
- 低コスト導入が可能



- センサー設置講習会説明資料(抜粋)
- ダッシュボードで管理

## 成果

- センサー通知による捕獲数39頭 (R2.10.25~R3.3.31)
- 【有害捕獲従事者へのアンケート結果】
- ・わなの見回り確認の省力化
- ・捕獲の通知が入るのが楽しみになり、モチベーションが上昇
- ・導入年に捕獲頭数も上昇



# わなの捕獲監視センサー(SMS通知)導入(徳島県勝浦町)

## きっかけ・背景

- 有害捕獲従事者の数が減少し、高齢化が目立つため、将来的に必要な捕獲の継続に不安

## 課題

- 有害捕獲頭数のほとんどがわなによるものだが、見回り作業の手間が、捕獲の拡大を阻害

## Step1 ICT機器活用

- わなの見回り作業を軽減するための監視センサーの導入が必要
- ただし、既製品の使用は費用負担が大

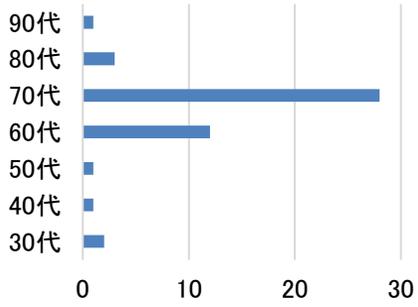
## Step2 ICT業者と協議

- 費用負担の軽減を地元ICT業者と協議
- 持続可能性の高いシステムを検討

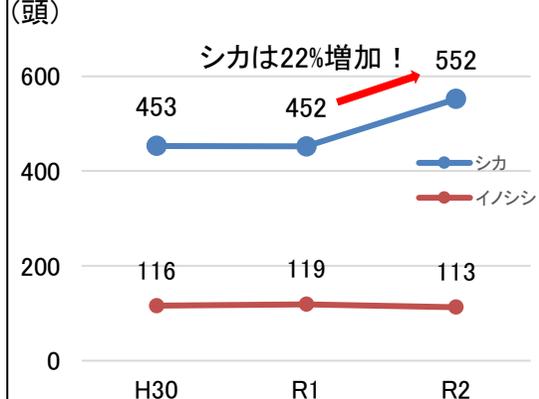
## Step3 適切な運用

- 町が有害捕獲従事者に講習会でセンサー設置方法について周知
- 町がダッシュボードでセンサーの電波や電池残量をモニタリング

有害捕獲従事者の年齢分布(R2年度末)



有害捕獲頭数の過去3ヶ年推移



- 別の携帯キャリアの電波も使えるようにしたい
  - センサーを小型化・軽量化したい
- といった声もシステムに反映

## 取組の特色

- SMSで捕獲通知を行うため、携帯端末の種類を問わず対応可能
- 携帯基地局を利用するため、専用の個別基地局が不要
- 通信費は町猟友会が負担し、持続可能性を担保。利用者負担は電池交換代のみ

## 取組による成果・効果

- センサー通知による捕獲数39頭(R2.10.25~R3.3.31)
  - シカの捕獲頭数が1年間で20%増加
- 【有害捕獲従事者へのアンケート結果】
- わなの見廻り確認の手間の省力化が実現
  - 捕獲の通知が入るのが楽しみになって、モチベーションが上昇